

# 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>3,079,082</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,513,986</b>
現金及び預金	1,647,297	支払手形	10,785
売掛金	1,004,075	買掛金	1,113,022
製前払費用	377,703	未払費用	181,759
未収入金	784	未払法人税等	12,605
立替金	41,836	その他	6,300
その他	4,524		189,513
	2,859		
<b>固定資産</b>	<b>28,971</b>	<b>固定負債</b>	<b>674,436</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>28,971</b>	負債のれん	674,436
建物	0		
機械装置	0		
車両運搬具	0		
工具器具備品	27,291		
建設仮勘定	1,680		
<b>無形固定資産</b>	<b>0</b>		
ソフトウェア	0		
		<b>負債合計</b>	<b>2,188,423</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,108,054</b>	<b>(純資産の部)</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>919,630</b>
		資本金	308,000
		資本剰余金	337,802
		その他資本準備金	337,802
		利益剰余金	273,828
		繰越利益剰余金	273,828
		<b>純資産合計</b>	<b>919,630</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>3,108,054</b>

## 個 別 注 記 表

### 1. [重要な会計方針に係る事項]

#### 1. 資産の評価基準および評価方法

##### (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

総平均法による原価法  
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げ法)

#### 2. 固定資産の減価償却方法

##### (1) 有形固定資産 …………… 定率法

主な耐用年数	建物・賃貸用建物	ただし平成10年度以降取得の建物については定額法 15年～50年
	機械装置	7年～9年
	工具器具備品	2年～20年

##### (2) 無形固定資産 …………… 定額法

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 製品保証引当金

製品のアフターサービスによる費用の支出に備えるため、売上高を基準として過去の実績率に基づいて計上しております。

##### (2) 賞与引当金

当期末における賞与支払い債務の見込額に基づいて、計上しております。

#### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の処理方法

税抜方式によっております。

### 2. [当期純損益金額]

当期純利益 273,828 千円